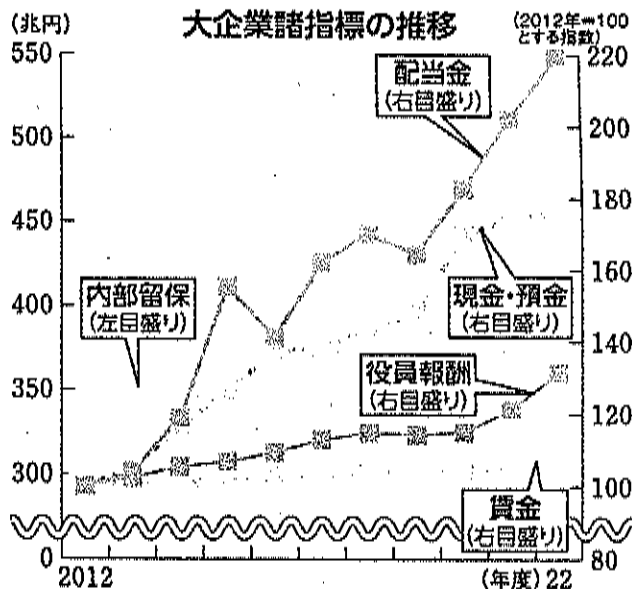


大企業内部留保 過去最高511兆円



賃上げの余力十分

法人企業統計

金は減少しました。

財務省が1日に発表した法人企業統計によると、2022年度の大企業（資本金10億円以上、金融・保険業含む）の内
部留保は511・4兆円と年度調査としては過去最高を更新しました。前年度の484・3兆円から27・1兆円（5・6％）の増加でした。一方、大企業における労働者1人あたりの賃金は611・3万円の前年度に比べ3・5％の増加でした。ただ、消費者物価指数（持ち家の帰属家賃を除く総合）は3・8％上昇しているため、実賃金は減少しました。

大企業の諸指標について、第2次安倍晋三政権が発足した12年度と比較した増減をみると、賃金は9・1％増にとどまりました。一方、役員報酬は31・5％増、内部留保は53・3％増でした。配当金は12年度の13・5兆円から22年度は29・7兆円へと2倍以上に増えています。また、現金・預金も12年度の46・3兆円から22年度は81・5兆円へと76％もの増加です。物価高騰で国民生活が苦しくなるもと、大企業には賃上げの余力が十分にありま